

(1) 単元名 球 技（ゴール型） 「バスケットボール」

(2) 本時の目標

それぞれのシュートを放つためのポイントを見つけることができる。（思考・判断）

基本的なシュート技能を身につけることができる。（技能）

(3) 展開

時間	学習活動と内容	教師の指導・支援（※評価規準）	用具
はじめ	5分 ○整列・挨拶・健康観察 ○目標の確認	・出席と健康状態を確認する。 ・本時の活動内容と目標の確認をする。	
なか	37分 ○ウォーミングアップ（7分） ・グループごとにドリルトレーニング、ストレッチを行う。 ①ハンドリング②ドリブル③パス ○シュート練習 ①セットシュート 1) 山なり君 2) NA椅子 ②ゴール下シュート 3) ゴール下の王者 ③レイアップシュート 4) ココ踏めワン・ツー ・4箇所での4つのシュート練習をローテーションする。 ・気付いたことを付箋に書き、図に貼っていく。 ○2 VS 1 シュートゲーム ・ハーフコートで行う。 ・1ゲーム3分とする。 ・OFとDFの役割は1ゲーム交代とする 1セット目 Aチーム→OF Bチーム→DF 2セット目 Aチーム→OF Bチーム→DF ・セルフジャッジとする。	・できるだけたくさんボールに触るようにさせる。 ・練習内容を確認する。 ・山なりのボールを放つことを意識させる ・巡視し、タイミングがとれない生徒に個別で指導する。 ・グループで見合ってアドバイスをし合うようにさせる。 ・気付いたことを付箋に書き、図に貼らせるようにさせる。 ※それぞれのシュートを放つためのポイントを見つけることができているか。（思考・判断） ・行い方やルールを確認する。 ※基本的なシュート技能を身に付けることができているか。（技能）	ボール コーン ボール マーカー フラフープ イス ロイター板 リング 電子タイマー 付箋 机 ボール ビブス 電子タイマー 得点板
終わり	8分 ○整理運動 ○学習カードの記入 ○振り返りと次時の目標の確認 ○挨拶	・巡視し、個人の評価を確認する。 ・本日の評価を発表してもらう。 ・本時の反省を話し、次時の授業の確認をする。	学習カード

2 成果と課題

①多くの練習方法、教具を工夫することで単調になりがちなシュート練習が、課題が明確となる授業につながった。